

NICU



ってどんなところ？

NICU とは、新生児集中治療室のことをいいます。
予定日より早く生まれた赤ちゃんや、小柄に生まれた赤ちゃん、
または何らかの検査や治療が必要な赤ちゃんが入院します。
NICU には保育器や呼吸器などが並んでおり、
24 時間赤ちゃんの状態を観察しています。



赤ちゃんの状態が落ち着けば、
赤ちゃん用のベッド（コット）へ移り、
お家に帰る準備をしていきます。



面会について

場所：周産期センター4階

（3 南病棟の上の階）

面会時間：両親 24 時間（8～10 時を除く）

祖父母 両親含む 3 名まで可能

（13～17 時 事前予約要）

窓越し面会は来院の連絡のみで可

*院内の面会制限に伴い変更の可能性があります

NICU は抵抗力の弱い赤ちゃんを守るために清潔に保たれています。
そのため面会に制限をかけており、NICU への入室はご両親のみとさせて頂いています。
祖父母は面会が可能（予約制）ですが、15 歳以下の子どもの来棟は禁止となっています。
ご両親の面会は、入室時に肘までの手洗いをを行った後にお願いしています。
また髪の毛の長い方はゴムでまとめて頂いています。

赤ちゃんの入院後の流れ

- ① 赤ちゃんの全身の観察をします
- ② 諸検査（採血・レントゲン・エコー）、点滴を行います
- ③ 心拍や呼吸数を測定するために、
赤ちゃんの胸や足にモニターをつけます
- ④ 検査結果が出たら、医師より説明があります
（検査結果が出るまでに 2 時間程度かかることがあります）
- ⑤ 医師からの説明を聞いた後、赤ちゃんに面会して頂きます



*面会可能となりましたら、産科病棟スタッフより声がかかります。
それまでお待ちください。

NICU で行われているケアについて

NICU に入院する赤ちゃんは保育器に入ります。
赤ちゃんは音や光に敏感なため、
保育器にカバーを掛けて光を調整します。
夜間は病棟全体の照明を消して過ごします。
また、保育器周囲では大きな音がしないよう、
アラームの音はできるだけ小さくするなど、
お腹の中に居るような静かな環境をつくっています。



看護師の介入だけでなく、
必要があれば理学療法士と協力し
赤ちゃんの成長発達を支援したり
ミルクが飲めるよう工夫を行います。



母乳・搾乳について

NICU に入院した赤ちゃんで、お口から母乳やミルクを飲めない場合は、
お口かお鼻からチューブを入れて母乳やミルクを胃に直接注入します。
赤ちゃんの状態が落ち着いて大きくなれば、
直接おっぱいを飲ませてあげることができます。
母乳には、赤ちゃんを病気から守ってくれる免疫や、
必要な栄養素がたくさん含まれています。
ミルクに比べて消化・吸収しやすく、小柄に生まれた赤ちゃんにとっては最適な栄養です。
そのため、おっぱいが搾れたら早めに NICU へ届けて頂くように勧めています。
搾乳方法については、産科もしくは NICU スタッフに相談してください。



赤ちゃんの状態や詳しい治療内容は、
医師から面談で説明をさせていただきます。
NICU に入院中、面談を希望される場合は
NICU スタッフへ相談してください。

